

令和3年度重点事業について

資料3

令和3年度当初予算の概要

【総 額】	①16,725,984千円(障害者福祉推進課)	政策経費の推移 (人件費、社会保障費 (義務的経費)を除いた額)	・平成30年度 1,905,978千円(2課合計) ・令和元年度 1,943,523千円(2課合計) ・令和2年度 2,326,176千円(2課合計) ・令和3年度 2,464,700千円(2課合計)	委員意見 (2年度) 令和2年度当初予算事業に対する意見 委員意見 (3年度) 令和3年度当初予算事業に対する意見
	②38,239,949千円(障害福祉事業課)			
	合計54,965,933千円(前年度当初比2,732,039千円 5. 2%増)			
	うち社会保障費 ①15,430,647千円(障害者福祉推進課) ②36,840,770千円(障害福祉事業課) 合計52,271,417千円(前年度当初比2,580,934千円 5. 2%増)			

主要施策	取組の方向性(七次)	数値目標(七次)	事業名等	事業概要	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 当初予算額(千円)	令和3年度 当初予算額(千円)	※委員意見(2年度)	※委員意見(3年度)	※委員意見(4年度)	説明
5障害のある人の相談支援体制の充実	5－(2)－①	5－10計画相談支援従事者数 5－11相談支援専門員の養成数	相談支援従業者等研修事業	相談支援従業者等養成研修ワーキングチームによる検討を踏まえて、相談支援専門員等の育成ビジョン(習得すべき専門性)を明確にし、これに基づき各研修を体系化する。 新たに、医療的ケアを要する障害のある子ども等への相談支援の充実を図るため、関連分野の支援を調整するコーディネーターの育成研修を実施する。	6,561	12,616	11,018				
5障害のある人の相談支援体制の充実	5－(1)－⑧	5－6発達障害者支援センター相談件数 (地域相談支援機関での相談を含む)	発達障害者支援センター運営事業 及び発達障害者支援体制整備事業	発達障害のある人が可能な限り身近な地域で必要な支援が受けられるよう、千葉県発達障害者支援センター(CAS)を拠点として、市町村・事業所等への適切な助言等のバックアップや専門性の高い人材の養成を目的とした研修等を行う。 また、発達障害者地域支援マネジャーをCASに配置し、市町村の発達支援体制整備や事業所等への個別支援、医療機関との連携等、地域支援機能の強化を図る。	55,241	60,400	60,400		千葉県発達障害者支援センターについては、耐震性等の面で不安があるので、検討をお願いしたい。		
5障害のある人の相談支援体制の充実	5－(1)－④	5－5基幹相談支援センター設置市町村数	基幹相談支援センターの設置促進に係る取組	基幹相談支援センターによる総合的・専門的な相談支援、相談支援事業所に対する助言や人材育成、関係機関の連携などの中核的な役割と、計画相談支援事業所、委託相談支援事業所の役割分担について、市町村と連携した研修会等の開催により情報共有を図り、市町村における設置を支援する。 基幹相談支援センター等において、地域づくりや人材育成等の地域における相談支援の指導的役割を担う主任相談支援専門員の養成研修を実施する。	—	—	—				(主任相談支援専門員の養成研修の予算は、5－(2)－①相談支援従業者等研修事業に含まれる)